

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

市区町村名 和気町

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
和気町	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	月当たりの時間外業務は小学校は月33.9時間、中学校は月58.1時間と小学校・中学校ともに前年に比べ地域と学校の連携が進み、改善されているが、中学校は目標値に達しておらず継続していく必要がある。	各本部長、地域学校協働活動推進委員、ボランティア、教員を対象とした町主催の研修会を年1回実施する。学校教育の目指すビジョンの共有、協働活動推進員の役割の周知などに取り組んでいく。	令和6年度から2つ目のCSが立ち上がり、各校の本部とCSで連携を密にすることでビジョンの共有、それぞれの役割を明確にすることで教員負担軽減を図る動きが見られた。令和7年度には町内全校でCSが導入される見込みであるため、引き続き連携・協働体制の構築に取り組んでいく。	推進員の役割が明確化されることにより、教員の業務負担が軽減され、地域との協働が進む。	教職員の月当たり時間外業務の平均時間数	小 33.9 中 58.1	時間	小40 中44	小25.2 中46.6	<small>※本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。</small> 令和7年度から町内全校でCSが導入され、地域と学校の連携が深化したことにより、推進員としての役割の明確化、情報の共有が行われ、ボランティアの参画が少しずつ増えてきている。特に学習支援での取り組みに変化が見られる。そのことにより、小学校については目標を上回り、中学校についても目標は達成していないが目標値付近まで削減できている。